KEIOGIJUKU UNIVERSITY 2



蔵田屋

大序

二番目

三番目


松


高





千秋萬歳

天保九戌年

江戸 芝神明前 伊勢屋稲荷 板行

中村座

市村座

ヤカヅハおしだされとのいろづま


名物饅頭
大當利
月見酒
繁榮連
吉六
清玄


吉六
清玄







序幕　目次　大切





浄瑠璃

十種





序幕 勅使饗応屋敷鋪の場



大権現 西社 御祭礼



幕の上松敷　関兄古



三幕目　茶屋場



序幕第二場目書



第四場目次



大切



来備中



千穐萬歳

大入叶

天保十二子年
五月吉日

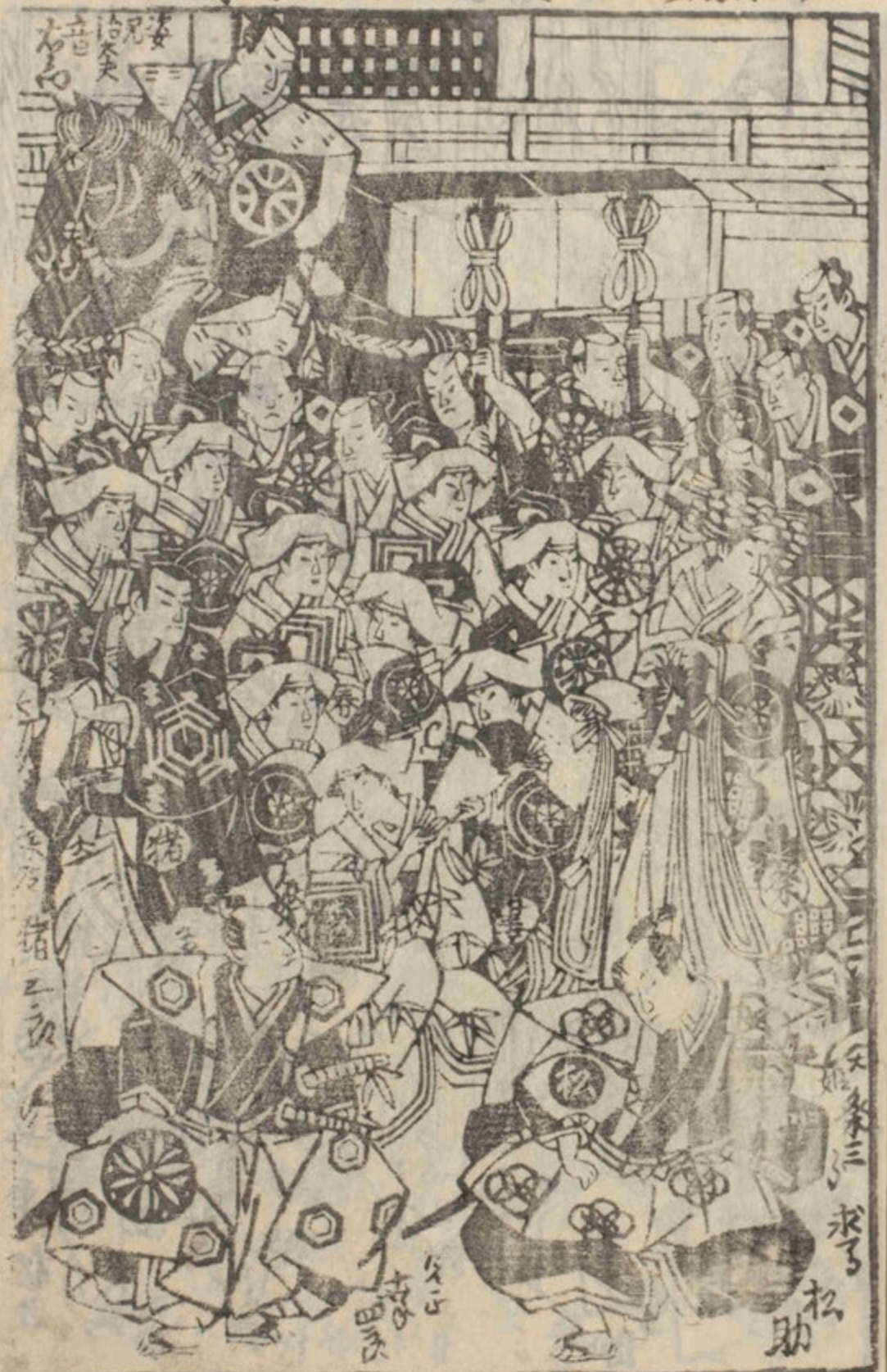
狂言作者

板元 江村屋利蔵 正

御ひいきのほどねがい奉ります
中村座
御名代 松尾屋松蔵











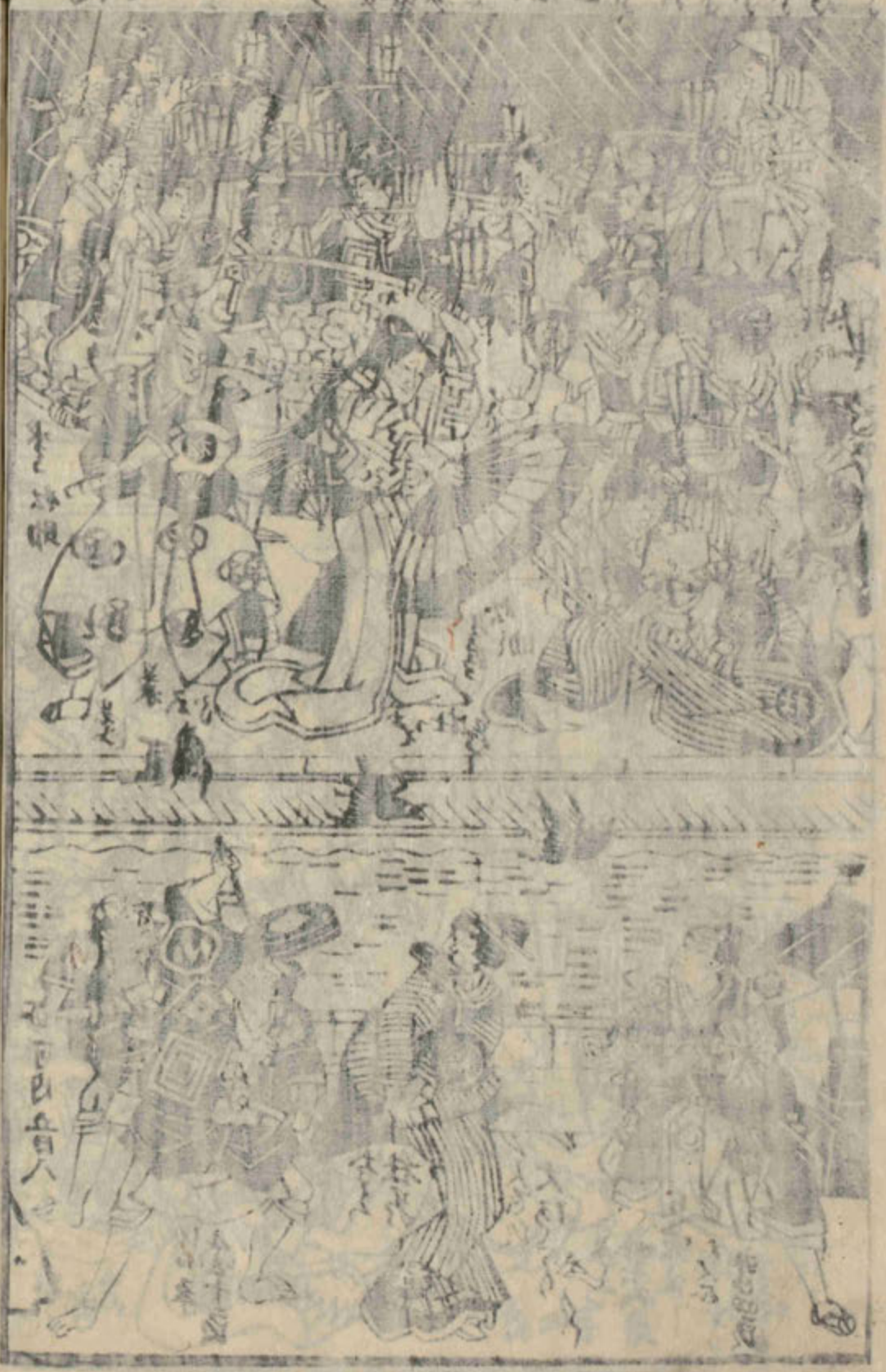
大詰大仕の切



三




清瑞瑞
ちん
初お目見
もぐすぐの
東雲
中二番目
序幕
清元延寿太夫
清元
延寿
清元寿寿太夫
は家名大夫
三弦清元千蔵
は民大夫
は志女大夫
よし
は清葛大夫
は芙春大夫
は市大神
は百二
十種
百歳
市川九蔵
中山源十郎
岩井半四郎
清川重春画
市川九蔵
大当り



乙卯日



大切




千龍萬歳大入叶
根元沢村屋利兵衛
狂言
作者
謹賀新年
さんがつうまれのてくだり
中村座


月だるま
義経千本桜
義仲の最期


月
三


右越後領
左甲斐領
三十六人切名
三陣


山本勘助討死
山縣三郎






浄瑠璃
こひ
のせさのと
小町桜
東春画
大当
吉今よで記大評判


千両
大入
萬歳



千穐萬歲大入叶

竹本連名
竹本住名
三味線名
囃子連名



么化三年 午
霜月十日ヨリ 初日

さるがく町 壱丁目
沢村座元 沢村宗之助 清正

作者

鵯退治の図





頼政鵺の



頼政鵺退治



常盤抱清盛幸軍

鬼童嶋の

大詰対面の場





序目番二





豊臣秀吉公

前太閤豊臣秀吉公

豊臣秀頼公

豊臣秀次公

豊臣秀勝公

豊臣秀保公

豊臣秀俊公

豊臣秀家公

豊臣秀長公



竹本座中

竹本座中

千龍
萬歲
大入
嘉永二年
正月吉日





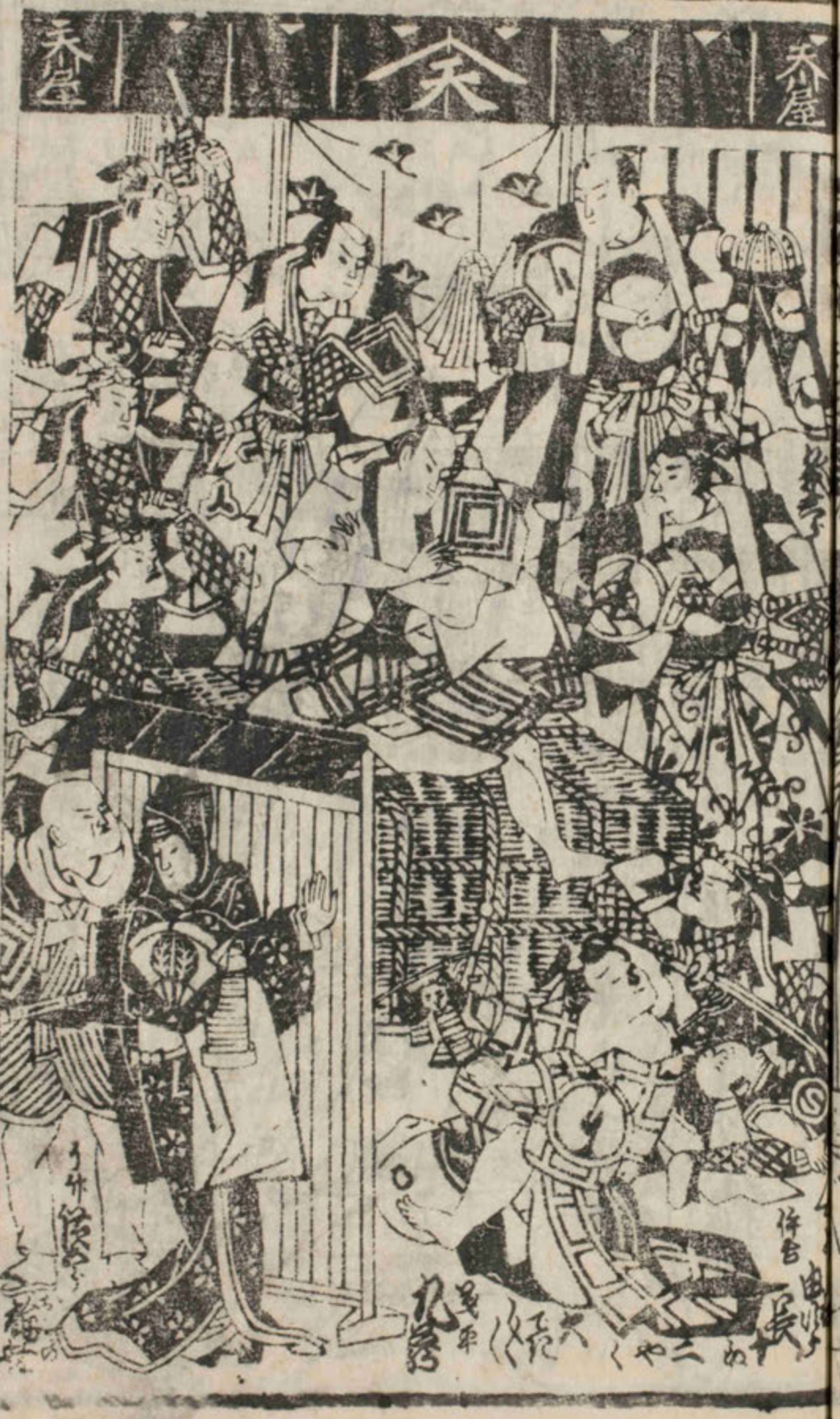
















千龍子大入叶

嘉永二年七月十一日ヨリ

三味線

幕間種

本狂言 大夫

本狂言 大夫

本狂言 大夫

清元 沢村利長 沢村利正

きのふとそろめぐりこのまさごぢ

水調子三重

中

おもて座





幕目



幕目



巨幕目



久飛



八幕目



八幕目









海賊退治 忠臣蔵 後編



連中


牛


嘉永四亥年
七月十二日
牛
作者
狂文
滑稽牛の角力
勧進元
本所九ツ目
豊国橋
大相撲
勧進元
浦安の
勧進元
二ツ目
東京
結髪
もんさ洗わのう
もも
牛の角力









序幕 目次二番



二番目







六豆国



廿二ぜんめ　大加



千穐萬歲

大人

日

弘化二乙巳年
正月十三日

松亭

悠若

秩父郡大宮郷
三峯山二ノ鳥居前

秩父郡三十四ヶ所
沢村若林

秩父郡中村座





之国立の面対員立





大詰

引込の場



大きめいむら屋浦の場



大吉祥 勝門の場



其二 変目序幕



神奈川見立ての湯



大切乃砂乃浄瑠璃の湯



千龍萬歲

大入

文化元甲子年
四月十三日ヵ

作者

狂言

田舎侍 [illegible]



序



幕

二之目



二幕目



三幕目



幕の内



天満焼



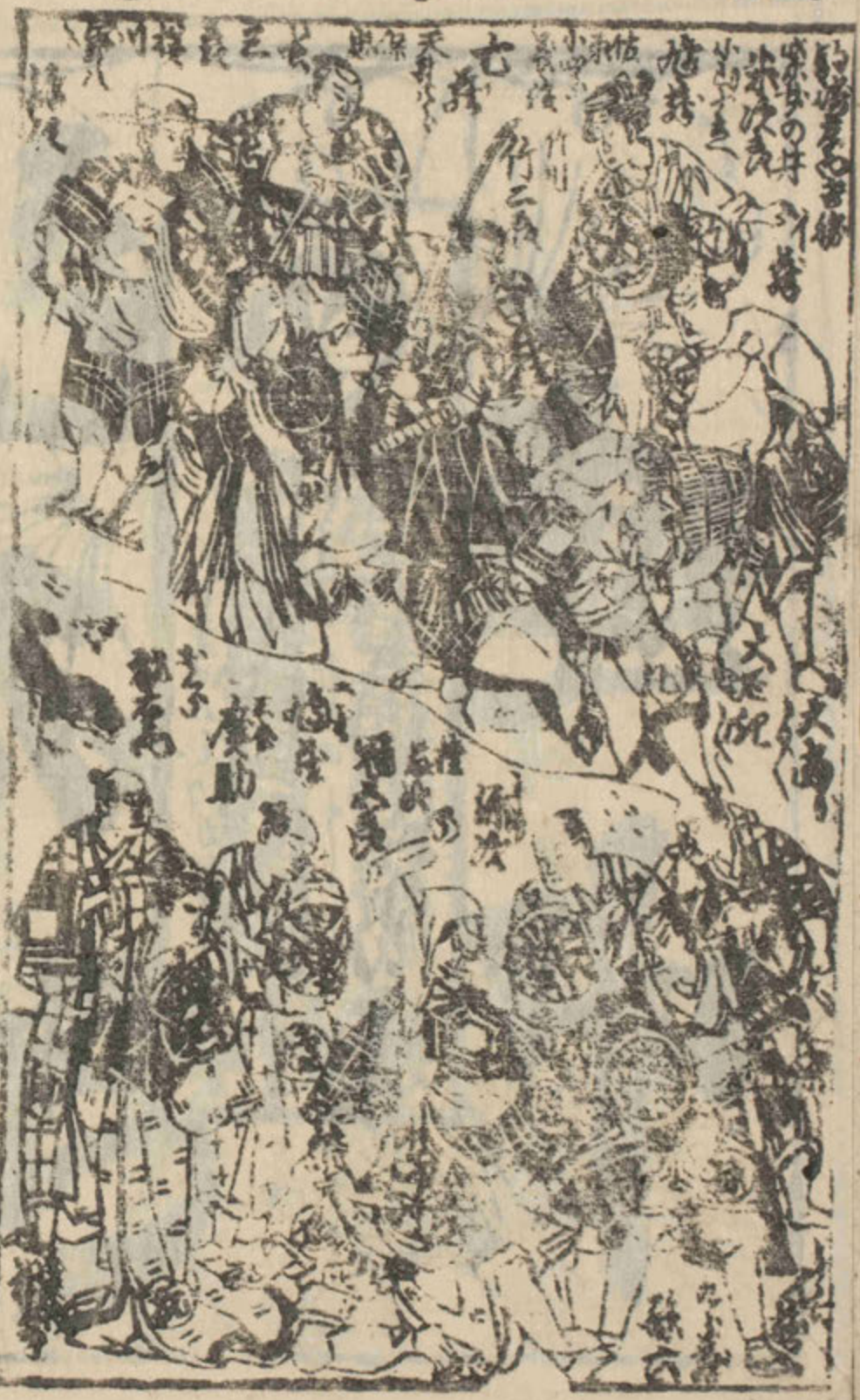
序幕

二表目






千穐萬歲
大入叶
仕手
地謡
笛
小鼓
大鼓
太鼓
後見
橋掛リ
幕
明和元甲申年
三月三日ノ
初演ニ付
謹而
寫之
沢村屋利吉清正

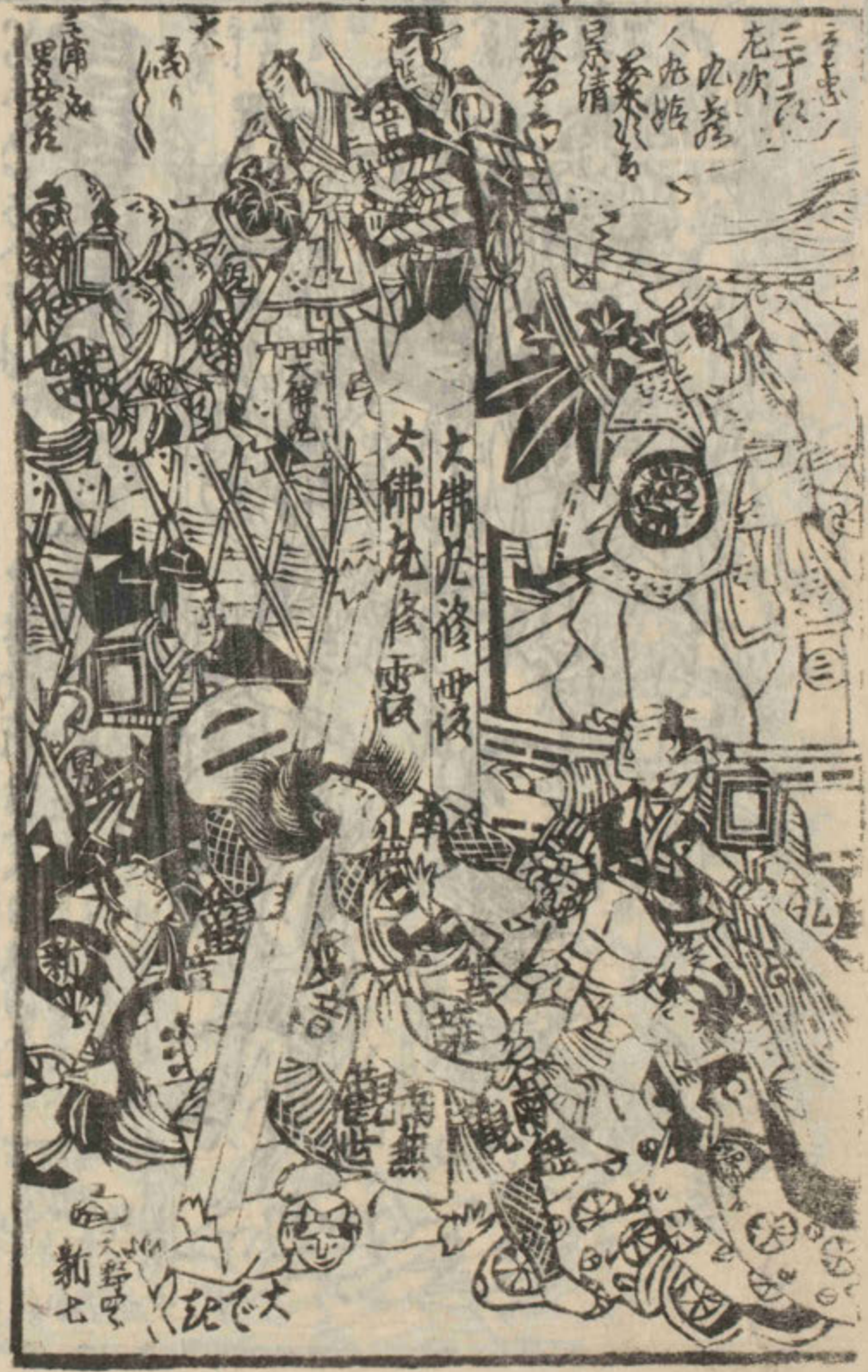




風ぐ久海猫理の湯



大諸



大尽で知んす目序







千穐萬歲

大入叶

弘化五申年
正月十三日

作者　　狂言

[illegible]
[illegible]
[illegible]